

本専門調査会のアウトプット活用のイメージ(たたき台)

標準的な対応メニューを軸として、各地の防災計画の中で色づけする仕組み(イメージ)

本専門調査会のアウトプット

標準的な対応メニュー

- 孤立集落対策
- 発災時の円滑な対応
- 民間企業、ボランティア団体の役割と連携
- 情報発信、広報
- 避難生活対策
- 長期避難生活後のコミュニティ再建
- 産業の再建
- ライフライン、インフラの早期復旧

+

各地で考慮すべき地域特性

地理的特性

中山間地域、沿岸地域等

社会的特性

人口・建物分布、インフラ等

地域固有の特性

産業、歴史・文化・伝統、コミュニティ等

各地で関係機関が役割を分担した防災対策の確保

【国】
制度の策定等

- ・ 情報機器等の整備の支援
- ・ 土砂災害等の防止対策 等

【都道府県】
地域特性を踏まえた
防災計画

- ・ ヘリ活用等、広域的対応
- ・ 発災直後の応援体制の確保 等

【市町村】
地域特性を踏まえた
防災計画

- ・ 情報収集、共有体制の確保
- ・ 避難所、物資供給体制の確保
- ・ 応援、ボランティア受入れ準備 等

【住民】
自助・共助の体制確保

- ・ 被害確認、情報収集及び発信等、住民主体の応急対応の準備
- ・ 備蓄等、生活必需品の備え
- ・ 要援護者対応等、きめ細かなソフト対応 等

【民間企業・ボランティア】
BCP策定、CSR活動

- ・ 事業継続体制の確保
- ・ 地域(行政、住民)と連携した防災活動を通じた地域貢献
- ・ 物流等のノウハウ提供 等